

## 1. 若者を正社員として受け入れる際に企業が感じる問題点と対応策

### (1) 若者を正社員として受け入れる際に企業が感じる問題点

若者(15歳～34歳以下。新卒者も含む。)を企業が正社員として受け入れる際に感じている問題点は、図表-6のように①定着が悪いこと、②若者

の社会人としての資質や能力、仕事への意欲が十分でないことが挙げられます。

図表-6 若者を正社員として受け入れる際に、企業が感じる問題点

(複数回答)

① 定着が悪い  ② 若者の社会人としての資質や能力、仕事への意欲が十分でない	1. すぐに辞めてしまうなど職場定着が難しい(37.2%)
	2. マナーやコミュニケーションなど社会人の基本が出来ていない(37.0%)
	3. 即戦力にならない(27.2%)
	4. 仕事への取り組み意欲や目標達成意欲が低い(24.3%)
	5. 自社の社風や職場への適合が難しい(9.4%)

### (2) 若者を正社員として受け入れる際に企業が感じる問題点への対応策

若者を正社員として受け入れる際に感じる問題点に対して、企業は、「業務知識習得や意識付けのため

の教育」や「早期離職を防ぐため募集等に自社や職種を詳細に伝える」などの対応策をとっています。

図表-7 若者を正社員として受け入れる際に企業が感じる問題点への対応策

(複数回答)

